

# 【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2023年 7～9月期の景況 / 2023年 10～12月期の見通

**宇部市内における中小企業の業況は持ち直しの動きが見られる。**

## 今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2023年7～9月期の実績と2023年10～12月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期より4.5%の回復となった。業種別では、製造業は▲21.1%から▲5.6%へ、建設業は▲40.7%から▲25.0%へと回復した。卸売業は▲9.5%から▲15.0%へ、小売業は▲11.1%から▲11.8%へ、サービス業は0.0%から▲3.6%へと悪化した。

来期の新規設備投資については、今期よりも2.7%減少する見込みである。

経営上の問題点については、依然として全産業で「材料価格の上昇」や「仕入単価の上昇」が上位に挙げられた。製造業とサービス業では「人件費増加」が今期新たに挙げられた。また、建設業では6期連続で「民間需要の停滞」が上位に挙げられている。

## DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不変」「下降」をもとに、景況変動に係る複数の指数を合成して算出する。

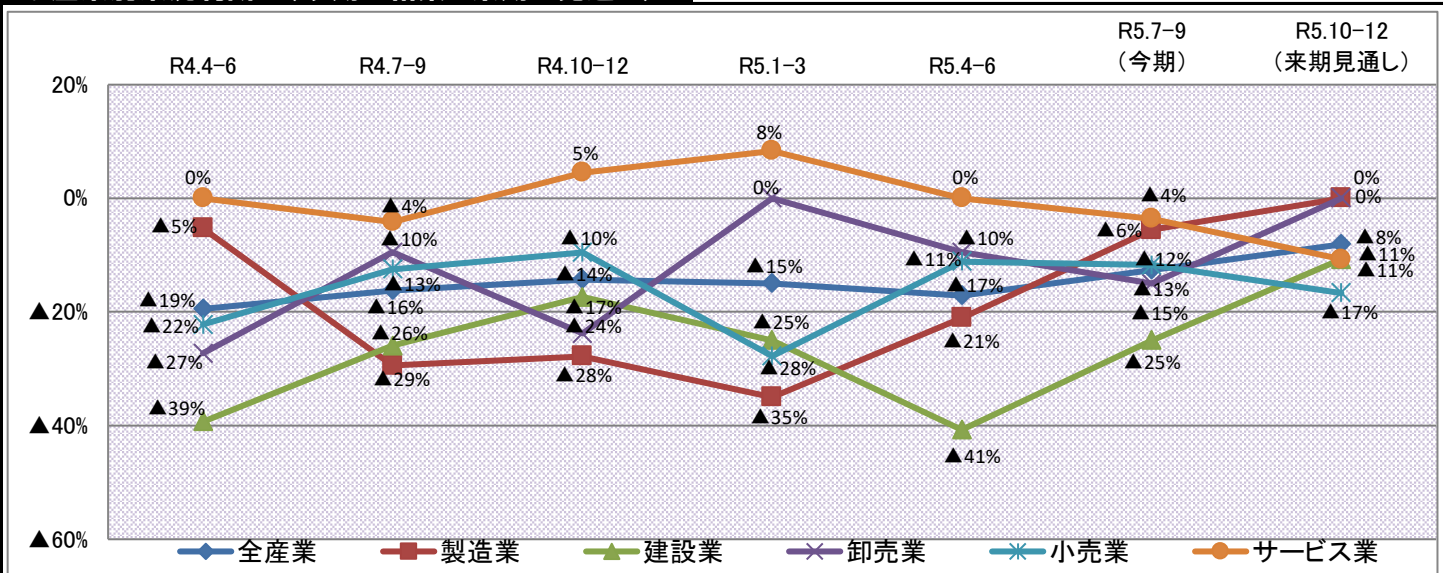
## DATA

- 調査期間: 令和5年9月11日～9月22日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業130社
- 有効回答企業数: 115社(88.5%)

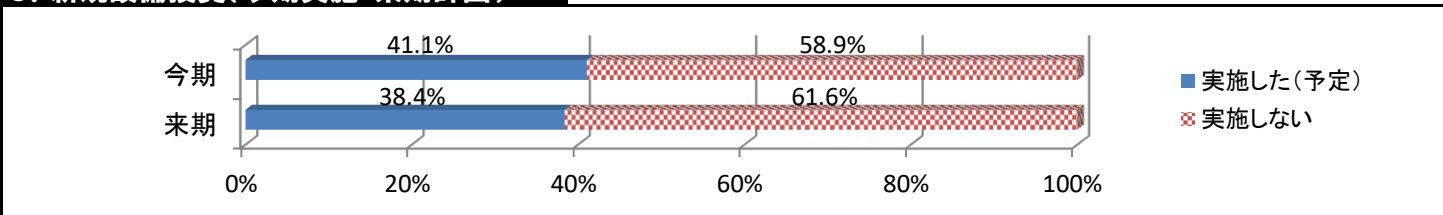
## 1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲12.6%	4.5%	1.8%	7.1%	▲7.1%	1.8%	▲14.7%	10.3%	▲6.3%	4.4%
製造業	▲5.6%	15.5%	11.8%	16.8%	▲5.6%	9.4%	0.0%	25.0%	▲16.7%	3.3%
建設業	▲25.0%	15.7%	▲21.4%	23.0%	▲14.3%	1.1%	▲22.2%	18.5%	▲21.4%	4.5%
卸売業	▲15.0%	▲5.5%	0.0%	▲19.0%	5.0%	5.0%	▲10.0%	4.3%	15.0%	15.0%
小売業	▲11.8%	▲0.7%	0.0%	16.7%	0.0%	11.1%	▲5.9%	11.8%	6.3%	6.3%
サービス業	▲3.6%	▲3.6%	20.7%	▲1.5%	▲13.8%	▲10.1%	▲25.0%	▲2.8%	▲6.9%	▲3.2%

## 2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



## 3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



## 4. 経営上の問題点

	製造業		建設業		卸売業		小売業		サービス業	
1位	原材料価格の上昇	22.2%	従業員の確保難	21.3%	仕入単価の上昇	18.9%	仕入単価の上昇	22.2%	従業員の確保難	16.4%
2位	従業員の確保難	14.8%	材料価格の上昇	16.3%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	15.1%	人件費の増加	11.1%	材料等仕入単価の上昇	15.1%
3位	生産設備の不足・老朽化	11.1%	民間需要の停滞	13.8%	従業員の確保難	13.2%	従業員の確保難	11.1%	利用者ニーズの変化への対応	12.3%
4位	人件費の増加	11.1%	熟練技術者の確保難	11.3%	人件費の増加	11.3%	消費者ニーズの変化への対応	8.9%	人件費の増加	12.3%